

令和元年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

佐賀県

行事名称	佐賀市重要文化財 勝宿神社 文化財防火消防訓練（文化財防火デー）
実施期間・日時	令和2年1月26日（日）6：00～7：00
実施場所	佐賀市重要文化財「勝宿神社本殿」（佐賀県佐賀市久保泉町大字川久保4199）
主催者	勝宿神社、佐賀市（教育委員会・消防防災課）、佐賀広域消防局（佐賀消防署）、佐賀市消防団（中部方面隊本部・第3支団久保泉分団）

■実施内容

訓練の想定

令和2年1月26日午前6時00分頃、勝宿神社から出火。発見者の『火事だあ・火事だあ』との連呼で関係者が119番通報する。関係者の消火器による初期消火を行なうも及ばず延焼拡大する。119番で覚知した佐賀広域消防局指令課は、直ちに佐賀消防署及び佐賀市消防団中部方面隊第3支団久保泉分団に出動を要請する。

訓練の内容

神社関係者による通報、避難誘導及び初期消火訓練。消防団と消防署による中継送水訓練。

参加者及び役割分担

所有者（勝宿神社宮司）、神社関係者及び地区住民等（8名） 119番通報、初期消火等
 佐賀市消防防災課（2名）訓練準備、消防団との調整、全体統括
 佐賀市教育委員会（3名）地域住民への周知、現場立会い
 佐賀市消防局佐賀消防署（11名）放水訓練、講評
 佐賀市消防団中部方面隊本部（4名）現場指揮
 佐賀市消防団中部方面隊第3支団久保泉分団（45名）放水訓練

特に工夫した点

特記事項なし

問題点・課題

今回の訓練地は、水利からの距離が遠いこともあり、中継送水に時間を要した。水利が限られている場所では、水利部署から火点までのスムーズな中継が重要となるため、消火活動の基本であるホース延長と伝令員の習熟が必要。

その他

地区住民も訓練に参加したり、見学をしており、文化財に対する防災の必要性を再認識する良い機会になった。

訓練風景

